



兵庫県立
姫路別所高等学校
46 回生 学年通信
卒業号(No30)
令和5 年 2 月 26 日

「丁寧に生きる、
感謝と笑顔と。」

校長 篠原 歩

あなたの命はあなただけのものではない。人類誕生以来のたくさんの命の出会いの結果、今こうしてあなたに預けられている。そして、育ててくれる人がいて、食べ物という他者の命をいただいて、様々な経験をさせていただいて、今のあなたの命がある。様々な命の中で、奇跡的に18年間大切に育まれてきた。

今のあなたの命は、果たすべき使命があるから今そこにある。使命とは「命を使う」と書き、生きる役目と言い換えてもいい。生きるということとは、その使命を探す道のりだ。生まれた場所や境遇など所与のものを経糸（たていと）に、出会うヒト・モノ・コトを緯糸（よこいと）にして織り上げる織物だ。緯糸の幅、厚みが大きくなれば、その織物の幅、厚みも増す。その織物は、誰かを包んでその心を癒したり、励ましたりするものになる。どこかで誰かが待っている。どこなのか、誰なのか、いつなのかはわからない。しかし必ず待つている人がいる。それを探すのが果たすべき使命であり、生きる役目なのだ。自分にはそれがはつきりわからないかもしれない。しかし必ず待つている人がい

る。これからのあなたの命は、これから果たすべき使命があるから今そこにある。

人に何かをしてあげるとは、巡り巡って結局は自分のためになる。自分のためではなく、人のためにやったことが最終的に自分に返ってくるのだ。「情けは人の為ならず」ともいう。そして、過去は及ばず、未来は知れず、いま正しいと思うことに全力で取り組むそれが果たすべき使命につながる。挑戦は上手いけば自信になり、失敗しても糧になる。今日一日の積み重ねが明日になり、明日の積み重ねが未来につながる。

「丁寧に生きる、感謝と笑顔と。」君たちから教わった。卒業おめでとう。

追伸…卒業式終了後、校長室を空けておく。写真・動画、よろこんで・・・。

.....

「為せば成る」

教頭 杉野 智也

卒業おめでとうございます。高校生活は充実したものでしたか。三十数年前の自分のことを思い出すと、「部活動と生徒会活動は一所懸命にやったな」という充実感は今でもよみがえってきます。でも、すべてが思い通りにいくこと

はなく何度も失敗を繰り返し、その度友人の筆箱に貼ってあったシールの言葉「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 為さぬは人の為さぬなりけり」を思い出してかみ締めていました。あとで米沢藩主の上杉鷹山の言葉と知りました。日本史Bの授業をとっていた人は学んだことでしょう。覚えていま

すか。
今それぞれの夢に向かってスタートラインに立ったところです。これからの人生まだまだ困難なことが連続するかもしれません。でも、自分でやらなければ次に進めない事がたくさんあります。逃げることなく正面から挑んで失敗したら原因を考え、同じ失敗を繰り返さないように心がけていく、そうすれば必ず成功につながると思います。
夢と希望を持って羽ばたいてください。期待しています。

.....

生徒指導部

木村 拓磨
窪前 栄太
井上 潤紀
山崎 千穂
中田 頌子

第46回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。前途洋々、今日の門出に心からエールを送ります。
皆さんが過ごした3年間で、校則や行事などが大きく変わりました。

【1】カジジュアルWEEK・カジジュアルFRIDAY・カジジュアルHOLIDAY・フォーマルDAYでのTPOに対応した服装
【2】交流体育祭の縦割り梯団でのチーム編成

【3】交流文化祭の2日間開催
【4】スマートフォン・タブレットの使用時間の拡大（朝の予鈴までの時間）

【5】教科書持ち帰りの緩和
【6】自転車規制緩和（マウンテンバイク・電動アシスト自転車・ロードバイクを許可）

【7】制服の移行期間廃止
【8】携帯扇風機使用の規制緩和
【9】ハロウィンの開催（仮装して授業を受講）

入学時から新型コロナウイルスに翻弄され、修学旅行の訪問先変更や部活動の制限など、皆さんは自分で自分自身を納得させながら成長してきました。大切な人を失い、会いたい人に会うこともできず、寂しくて苦しい日々の連続。我慢と辛抱の日々がいつまで続くのかもわからず、悶々とした日々を過ごしました。学年の先生方だけではなく、多くの先生方からの深い愛情を受けた学年です。世界の歴史を紐解くと、人類はこれまでも様々な困難を乗り越えています。まだまだ予測不能ことが多くですが、「どんな困難も必ず克服できる」と信じて、一歩ずつ前進していきましょう。「冬は必ず春となる」。

「生徒指導は『未然防止』、そして『初期対応』」とのテーマを掲げ、私たちは姫路別所高校の安全な生活を守っています。朝の交通立ち番や通学路マナーアップキ

ャンペーン、スマートフォン使用のTPO、交通マナーの遵守など、すべきことは様々ですが、「対話と協調」を目指して取り組んできました。生徒指導部としては、何れは「校則」が無くなればよいと考えています。何かに縛られて窮屈な高校生活を送るのではなく、「共生の心（相手の立場になって考え、行動する）」を育めば、ルールなどいりません。コロナ禍のニュースで「ルールが守れない人のために、規制を厳しくしなければいけない」とよく耳にしますが、一理はあると思います。割合としてはごく一部なのでしょう。世の中には、敢えて法律に反した行動をしようと考えて生きている人はほとんどいません。しかし「これくらい大丈夫だろう」と考えて生きている人は結構いるかもしれません。「人が見ていなければ」とか「バレなければ」の積み重ねが、自分自身を作り上げてしまっていることも事実です。しかし、最近になって思うことは、様々なことが自由になったことが姫路別所高校のゴールではないことに気づいていますか？ということです。

時代に先駆けて様々な取り組みをすることは、たくさんの批判や疑問に立ち向かっていく勇気がないと達成できません。私服での登校は、「時期尚早」「格差を生む」「指導が大変になる」「教師のエゴだ」「そんなに目立ちたいのか？」などの意見を浴び、4年前は約9割の反対を受けて脚下されました。今年度、実際に実施して何か問題がありましたか？何事においても先見の明が必要です。時代がついてこなくても先取りを

していかないと生きていけない時代がいよいよやってきました。さて皆さんはどう生きるか。大切なのは、「自由」の意味を自分なりに考えて、その勝ち取った自由をどうやって繋いでいくかということだと思います。いずれは、本校の自由を履き違えた人が受検し、勝手な解釈で「わがままな自由」がまかり通る時が必ずやってきます。それまでにこの権利の意味するところをどう繋ぎ、永遠に伝承していくか。

それぞれが進む道には必ずルールやマナーがあります。合理性のないようなルールには意見をすれば良いし、それを変革できるような立場になることも必要です。しかし、なぜそのようなルールがあるのかを考えることも大切です。本校では「ツーブロックや髪染め」を禁止しています。他校では許可をしているところもあると聞いています。昨年度、進路指導部を通じて、本校に関わる大学や短大、専門学校や企業に対して、「ツーブロックや髪染めして面接に行ったら合格できますか？」と質問をしたところ、「基準はありません。しかし面接担当者も色々な方がいらっしゃるのどのよう評価するかは・・・。」と判断が難しい言葉が返ってきます。私たちが何に對してどのように勝負していかなければいけないかを考える必要があります。中味で勝負するのはその舞台に実力で立つてからです。勝利をもぎ取るには、我慢と辛抱が大切です。
46回生の皆さん、それぞれの置かれた場所で花を咲かせ、どこにあっても太陽のような存在にな

ってください。自分が光り輝けば、周りの人も温かい気持ちになります。人生の最大の目標は「幸福」になることです。人との縁を大切にし、正義のためには勇気をもって行動できる人になってください。それが私たちの願いです。

保護者の皆さまにおかれましては、本校へのご支援、ご声援、誠にありがとうございます。姫路別所高校のよき理解者として、この先も応援をよろしくお願い申し上げます。



教務部

近藤 洋平
名村 文男

46回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんの成績を3年間見てきました。定期考査が終わるたびに、自信に満ち溢れた顔や、次の考査に熱意を燃やす姿を幾度となく見守ってきました。この度、46回生全員が卒業できることに、教務部は喜びを感じています。3年間の学び、お疲れさまでした。

これからの人生で、仕事を始めると多くの人にとって、「テスト」というものは必須ではなくなるでしょう。その分、今の自分が与えられた場所で活躍するための知識や技術を持っているかを、自分自身で見つめなければなりません。教科の勉強はここで終了になりますが、人生の学びはこれからも続きます。まだ見ぬ世界に羽ばたき、様々なものを見て、触れて、感じ

て、感動的な体験がたくさん訪れることを祈っています。これからぜひ、学び続けてください。



養護

中田 頌子

46回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

卒業に際し、どんな言葉を贈ろうか迷ったのですが、一番励まされた歌詞を贈りたいと思います。

「アンパンマンのマーチ」

作詞 やなせ たかし

そうだ うれしいんだ
生きる よろこび

たとえ 胸の傷がいたんでも
なんのために 生まれて

なにをして 生きるのか
こたえられない なんて

そんなのは いやだ！
今を生きる ことで

熱い ころろ 燃える
だから 君は いくんだ

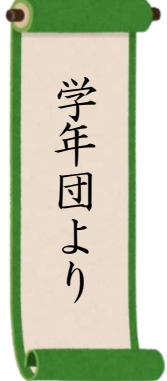
ほほえんで

「なんのために生まれて なに

をして生きるのか」深い問いかけだと思えます。今は答えがみつからないかもしれませんが、今まで経験したことすべてがあなたの味方となり、いつか生きる道になると信じています。どうか胸を張って進んでください。

最後になりますが、年度途中で復帰した私にいつも明るく、優しく声をかけてくれてありがとうございます。

いつも励まされていました。会えなくなるのは寂しいですが、どうか健康には十分に気を付けて、お元気で！46回生のみなさんのこれからの活躍を保健室から心より応援しています。



主任

天野 弘之

言葉はいつも心を映す鏡。3年間の高校生活で46回生の皆さんは、言葉の力をしっかりと磨いてくれたでしょうか。表情・態度とつながりながらコミュニケーションの核となる重要なアイテムである言葉。そしてその言葉を支えている大黒柱は国語力。国語力は論理的思考力。感情に振り回されず、物事を順序正しく考える力です。3年間の高校生活で国語力は向上したでしょうか。

実を言うとボクは論理的思考が苦手な方で、いつも感情が先に立ち精神力や気持ちで物事に対処していくタイプ。自分に足りない論理的思考力を高めるために、あえて苦手な分野へのアプローチを心がけてきました。手軽に取り組めたのは時事問題や世相を反映している内容の新聞記事に目を通すこと。全部読まなくても、タイトルを見るだけでも視野は広がります。皆さんも試してみてはいかがでしょう。苦手分野へ入門する意識を少しでも持つことで論理的

思考力は劇的に深化します。そう、何事もほんのわずかなことで大きな違いが生じます。

高校生の頃は残念ながらこのことに全く気づいていませんでした。ダメダメでしたが、歳を経て、「苦手意識は単なる思い込みで、興味を持って丁寧に見つめてみると、面白い発見や感動がある。」というギフトを手に入れました。

絶対そうだと断言できませんが、たぶん苦手は得意の裏返しでコインの表裏。人間の長所と短所みたいなものです。一見、全く違うもののようですが、視点を変えれば同一になる。視点は観察力・探究心が育ててくれます。ところで、探究の発表会、とても楽しかったですね。発表者のみならず、46回生の持つ雰囲気作り上げた成果の一つですね。

感じることを。読んで見て考えることは探究心の出発点。国語力のバロメーターである読書量と深いつながりがあります。ボクは高校3年の頃、芥川作品を読みふけり、『歯車』や『侏儒の言葉』に熱中かなり。ペシミスティックな思考をしていたかもしれません。でも、星新一のショートショートで軽妙な感覚も楽しんだし、眉村卓の不思議なSFで感覚を研ぎ澄まし、筒井康隆のブラックユーモアやジョークで厭世観、つまりペシミスティックな思考はリセットされていたのではないかと思います。

読書以上に気軽に楽しめ、視野を広げてくれるのは、なんとと言っても映画鑑賞でしょう。ハリウッド映画ももちろん良いのですが、社会性が高い作品も大いに観る価値があります。1970年代後半、

「読んでから見るか 見てから読むか」というコピーが流行語になり、角川映画をよく観ました。角川映画と角川文庫を同時に売るという作戦ですが、松田優作主演の『人間の証明』、薬師丸ひろ子のデビュー作『野生の証明』や『セーラー服と機関銃』など時代の空気を反映した面白い作品が目白押しでした。横溝正史シリーズも良かったですね。

大学生の頃、ひよんなことから全く興味がなかった『海と毒薬』を観に行つて衝撃を受けました。モノクロ作品でしたが、とても強烈なインパクトがあり、医療とは何か、人間とは何か、戦争とは、宗教とは……、と様々な思いを巡らせたものです。もちろん原作も読み、当時、コーヒーマシンに北杜夫と出演している作家、『狐狸庵先生』のイメージくらいしか抱いていなかった原作者の遠藤周作先生に敬意を抱き、作品を読みふけりました。『沈黙』『深い河』はおすすめ作品です。

読書が人生の指針となる。本との出会いは、物の見方考え方、それこそ生き方を形作ってくれることがあります。どんな形でもいいです。今後、皆さんが素敵な本と巡り会えることを願っています。

46回生の皆さん、あつという間の3年間でしたね。これから新しいステージで成人として、更に新しい自分と出会って進化し続けてください。そして、世界と対峙するときは、「面白い」と思える部分を発見し、論理的思考力と感動する心を上手くバランスさせ、いつもニュートラルな心であらゆる対象と向き合ってください。そ

うすれば、世界はいつもあなたに微笑みかけてくれるはずですよ。卒業おめでとう。君に幸あれ。素晴らしい「K I S E K I」をありがとう。



1組担任 野上 光雄

くベッドに倒れこんでため息一つバイトで疲れ果て体は重い想像した将来は近づいてこないシートに顔をうずめて「なんでだ?」って呟いた真夜中

46回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。冒頭にお送りした曲はボルノグラフィティ「君は100%」よりの抜粋です。

さて、小学校↓中学校↓高校と皆さんは進学してきました。勉強がしたいから、学校に行きたいからこの選択をしてきた人もいるだろうけれど、多くの人は「決められているから。」「みんなが進んでいるから。」「誰かが行けと言ったから。」「ここまで進んできた人も少なくないと思います。ここから先の進路は大学・短大・専門学校等への進学、企業等への就職、その他の道など、人によって進む道はバラバラです。もちろん自分と似たような道を進む人もいるだろうけれど、今後の人生に「己の意思なき道」はありません。これからの人生はさながら真っ白な画用紙のようなものです。是非、「こうしたい!」という自分の気持ちに素直になりながら、自

分の思うがまま、素晴らしい絵や字をかいたり、折り鶴を折るなどしてもらいたいと思います。

「やりたいことをやろう！」といううと、「ああ、何だか楽しそうだな。楽しそうだな。」と思うかもしれないけれど、これがなかなか大変です。そこで冒頭の歌に戻るわけけれども、全力で頑張っても上手くいかないことはたくさんあると思います。

世の人は言います。「努力は裏切らない」と。しかし、現実結構非情で、努力はわりかし頻繁に裏切ってきます。私もそれなりに失敗してきました。

第一志望、第二志望、第三志望すべて落つこちた大学入試。

何十社受けてもエントリーシートで蹴落とされる就職活動。お客様のために誠心誠意対応するも、鳴り続ける名指しクレーム電話の嵐。

大学時代から通算して5回落ち続けた教員採用試験、などなど。まだまだあるけれど。

だからといって「失敗したらどうしよう…」。「描いた絵が誰かに笑われたらどうしよう…」。「じゃあかくのをやめておこう！」となれば、結構人生つまらなくなります。

飽くまで個人的感想ですが、「仕事がつまらない、人生がつまらない」と感じるときは往々にして自分が人生に受け身になっているときが多い。しんどい日々や思い通りにいかないことなどに対して不平不満を垂らし、言い訳を並べながら「ああ、何か面白いこと起こらないかなあ…」と考えてい

るときはいろいろなことが上手くいかず、悪循環を生むものです。

しかし、「自分がかかわるからには面白くしてやろう!」「あんなことがしたい!そのためにはどうしたらいいの?」「この壁さえ乗り越えたら目標達成だ!」など、自分でやりたいことを形にするために努力しているときは、人生とても面白いものです。(まあ、その分しんどいですが…)

努力の結果がいいものになるとしてもそうでないものになるにしても、努力の大きさが大きければ大きいほど、思わぬ副産物が手に入ったりします。状況や人によって得られるものは様々ですが、それらは自分を次なるステップへ進めてくれる糧になったりします。どうせ一度きりの人生。どうせ生きるなら、全力で動いて汗かいてもがいて、叶えたい夢を可能なら叶え、なりたいたい自分になってほしいな、と思います。

そして、周りにいる仲間を大切に。皆さんがこれまでに築いてきた、またこれから出会うであろうすべての仲間は人生の宝です。安易に切り捨てずに大切にしていってくださいね。

長くなりました。皆さん、本当に卒業おめでとう。あなたたちと過ごした日々は本当に楽しかった!

これからの皆さんの人生が実り多いものとなることを祈りつつ、最後に冒頭に紹介した「君は100%」のサビの部分を紹介して、くどくどと長い自分語りが大好きな野上からの、お祝いの言葉したいと思います。

「100%うまくいくという人生ってどうなんだろう?」

完璧なストーリー最高だと思っちゃうけど

失敗の次にある成功が何よりも勝つて

素敵なものになる君自身で証明をしてみるんだ

皆さん、本当にありがとうございます。

2組担任 片山 泰宏

卒業おめでとうございます。

私は2学年からの2年間、担任として46回生を見させていただきました。正直、クラスに入るまでの間は、気が重かったです。理由は、その前の年に担任をされていた井口先生が、若くて格好よく、素晴らしい先生だと聞いていたからです。その先生の代わりに、こんなくたびれたおじさんの先生が入ったら、生徒から非難の嵐が吹き荒れるのではないかと、不安だったのです。もちろん、井口先生が転出されたことを残念に思っている生徒はいましたが、それはそれとして、こちらへの大きな非難もなく、生徒の皆さんが温かく迎えてくれたことは、非常にありがたかったです。

振り返ってみると、良くも悪くも、君たちの元気のよさに圧倒された2年間だったと思います。体育祭、文化祭、修学旅行や校外学習、その他さまざまなイベントで元氣いっぱい活躍してくれました。その元気の良さは、この先様々な進路に進んだ時にも、必ず役に立ちます。

ちます。君たちの元気があれば、困難にぶつかっても、きつと切り

抜けられるはずですよ。ただし、元気が良ければなんでもうまくいくとまでは言えません。TPOに応じて、その元気をコントロールすることも忘れないでください。

さて、この学校に来て、写真部顧問となり、君たちの表情を撮るのが面白いと以前の学年通信で書かせてもらいましたが、その新しくできた趣味の延長で、出会った言葉をここに引用します。

「同じものが違って見え始める。このことは写真を撮る上でとても重要なことだ。当たり前のものが別の角度から覗くと急に違って見えたり、感じられたりするとき、そこに創作のヒントが大いにあると私は考えるからだ。」

(写真家 小林 紀晴)

この方は、写真についてこの言葉をおっしゃられています。しかし、先生としては、写真のみならず、様々なことにあてはめられる言葉だと思っています。高校を卒業し、進学・就職し、様々な新しいことに人に出会い、多くの体験をするでしょう。その中で、今までとは違って見える・感じられることが多くあるはずですよ。そこにはきっと、自分を幸せにするヒントが大いにあります。これから先、そういつた変化を大切に、よりよい人物となって、幸せになれるように願っています。

この2年間、たくさんの思い出と笑顔がありがとう。

3組担任 芝崎 真誠

46回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。現在、私自身も高校1年の子供がいます。親として子供の成長は、期待と不安でいっぱいです。期待していたら、見事なまでの裏切り。できるわけないと思っていたら、案外サラッとやり遂げる。ハラハラしているのは、親だけなのか?と思うばかりです。親なら月1程度にあるが、教師という立場では、毎日がハラハラドキドキです。

学校に行きたくない、行くのが面倒くさいなど、欠席や遅刻の度に不安となり、提出物を出さない、テストの点数が落ちれば心配になります。また、少しでも成績を伸ばそうと放課後に勉強している姿や質問にくる姿を見ると嬉しくなり、行事で元気な姿や必死に取り組む姿を見て感動しました。

入学後は、コロナ禍ということもあり、多くの心配をしていました。入学式がなくなり、自粛生活を強いられ、登校できれば行事縮小など、思い描いていた学生生活とは、かけ離れていたことだと思います。そして何より環境に戸惑い、まだまだ幼い君たちをみて不安な日々でした。しかし、日が経つにつれその不安も少なくなり、そして解消されたのは修学旅行でした。場所が変わったことは残念でしたが、楽しそうな姿と行動力を見て、この子たちならもつと出来るのではないかと、勝手に思っていました。そして、修学旅行から帰ってきて1週間後に期末

考査、終われば文化祭と盛りだくさんでしたが、そのときには、君たちならやりきれると確信していました。

3年生になり、新たなことが増えた交流体育祭のときも、交流文化祭、カジュアルデイ&ウィーク、そして進路決定でも、君たちならやってくれると思っていました。

特に交流体育祭、交流文化祭ではさすが3年生と思える姿に感動しました。今では、1年生で感じていた幼さは少なくなり、大人へと成長したと感じています。

不安な気持ちで始まったこの3年間、悩むことも、上手くいかないことも、気持ちと行動が噛み合わないことも多々あったようにみえました。そんな中でも楽しむことを忘れずに、泣いたり、笑ったり、励まし合ったりしながら過ごした日々は、良き思い出となったことと思います。

最後に、子供の成長は期待と不安がいっぱいです。しかし、日々成長している姿は誇らしく思います。そんな生徒たちであったことと、多くの感動をありがとうございしました。君たちと過ごした3年間は、本当に幸せでした。ありがとう。



学年付 古野 杏葉

46回生の皆さん、ご卒業おめでとございます。

3年前の春、期待と不安を抱きながら姫路別所高校の門をくぐり、高校生活がスタートしたかと思えます。入学時から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、入学式の縮小、2ヶ月の休校からスタート。その後もさまざまな学校行事が延期・中止となり、我慢も多かったと思います。入学前に抱いていた高校生活と少し異なる部分があったと思いますが、その中でも1つ1つのことに全力で取り組み、楽しさを自分たちで見出し、学年はもちろん、学校行事等全てにおいて盛り上げてくれましたね。その姿を近くで見て、3年間で大きく成長したなど痛感させられました。私自身、教員になり初めての生徒が皆さんでした。学年としても授業としても関わりをもつことができ、1番近くで皆さんとともに歩むことができ、この3年間皆さんと過ごした日々はとても濃く、私自身も成長させていただき、かけがえのない何にも代え難い素敵な日々となりました。

本日で姫路別所高校を巣立つ皆さんに私が皆さんへ贈りたい言葉を2つ伝えます。

“世界を変えよう！切り開け輝く未来 きつと君を待ってる 不器用に何度もつまずいたって夢は叶えられる”

“10年前になりたかった自分に今なれていますか？そう聞かれたら10年後の君はなんて言う？”

この歌詞は、どちらもKing & Princeの「君を待ってる」という曲です。これから、進学や就職とそれぞれの道に分かれますが、どの道にも明るい未来が待っています。その明るい未来をどのように切り開くのか、それは自分次第です。これまでは保護者の方、幼稚園・保育園から高校までに出会った先生方にある程度のレールを敷いてもらい、その道の上を歩んできたかと思えます。ですが、高校を卒業したあとは、そのレールを引くのも自分です。人から言われずとも、たくさんのことにチャレンジし、たくさんの経験を積んでください。これからの長い人生、困難に直面する場面も多々出てくるかと思えます。失敗してもやり直しができます。また、失敗したからこそ見えてくるものもたくさんあります。世の中に失敗せず人生を歩んできた人はいません。失敗し何度つまずいたとしても、諦めずに挑戦し続けることで成功に繋がります。何事も諦めず、挑戦し続けることが大事です。たくさんチャレンジしてください。必ず道は切り開けます。

そして、いろんな夢を抱き、皆さんは高校を卒業すると思います。私は高校を卒業して今年で8年経ちます。まだ10年経っていませんが、保健体育の教員になりたいと思ったのが高校3年生の時でした。私は、8年前に描いていた夢へ辿り着いていませんが、少しずつ近づくことができている。夢を叶えられたから成功者かと言えませんが、皆さん私の現在の年齢になったときに胸を張って、自分の進

んできた道は間違いではなかったと思えるように、素敵な人生を歩んでほしいと思います。

最後に、今まで18年間の人生で出会った人たちとのかわりはもちろんですが、今後の人生で出会う人の方がきつと多いはずですから、その人たちとのかわりも大切に、充実した日々を送ってください。皆さんの健康を願うとともにさらに成長した姿でまたお会いできる日を楽しみにしています。教員になり、初めて関わった学年が46回生の皆さんで良かったです。あなたたちの笑顔や明るさ、人懐っこさにたくさん救われました。素敵な時間をありがとうございました。



教科の先生より

【国語科】

吉倉 健人

国語科教諭という職業柄、小説をよく読みます。

あなたの高校生活を1冊の小説になぞらえて考えてみると、この卒業式の1日はまさにエピソードであり解決編。紆余曲折を乗り越えてようやく大団円を迎えるところ、と言えるでしょうか。

さて、小説を読む基本は、登場人物の変化をおさえること。あなたは、自身が高校入学時からどのような変化を遂げたか答えられますか？——答えられずとも大丈夫です。失敗や間違いはありつつも、それでもきつと、あの頃よりは前に進んでいます。誰しも自分の成長には案外無自覚なものだから。『あなたの物語』。続編の刊行を一読者として心待ちにしています。卒業おめでとう。

乾 八重子

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。」
(鴨長明『方丈記』より)

昔から多くの人々が自分の一生をどう送るべきか真剣に考えてきました。二度とやり直しのきかない、しかも、常に変化しやすい一生を価値ある、悔いのないものにするためです。

今まさに人生の春を迎え、それ

ぞれの道へ旅立っていく皆さん、どうか自己を見失うことなく、かけがえのない充実した人生を切り開いていつてほしいと願います。卒業おめでとう。

【社会科】

中野 翔太

46回生の皆さんご卒業おめでとうございます。昨年はほとんど関わることが無かった学年でしたが、今年はたくさん授業を持たせてもらいました。毎週火曜日は、1日の半分が中野の授業なんて子もいましたね。私が担任をしている48回生の生徒は、私の顔を見ると逃げていきますが、46回生の皆さんはニコニコしながら話しかけてくれることがとても印象的でした。さて、卒業考査時の表紙には、ラストエンペラー溥儀の悲痛の叫び(扉を開ける)を書いてみました。彼の人生の大部分が監禁生活であったため、ドアというものがないと認識していたそうです。卒業生の皆さん。これからの人生で、目の前に閉ざされた扉が現れたときは、自らの手でねじ開けるなり、叩き壊すなりして、強く前に突き進んでください。大部分の生徒が今生の別れとなりますが、お元気で！

【数学科】

藤原 勝博

数学探究Bの講座の皆さん、お疲れ様でした。最後の授業は楽しかったです。キーワードは「パリテイ」でした。見学の先生方が、受講生の皆さんより多かったのもいい思い出です。1年間を通して真面目に取り組んでくれて、ありがとうございました。

卒業生の皆さん、高校3年間に培った力でこれからの人生を切り拓いてください。ご卒業おめでとうございます。

大西 快周

1年間、数日お疲れ様でした。甘やかすことなく、厳しくひたすら問題を解くといった授業やっただ。でもあれは愛のムチってやつです。きつと僕の愛が授業を通して君らには伝わっていることでしょう。

この1年、どうでしたか。受験勉強ってめちゃくちゃ辛いやろ。勉強してるはずなのに成績上がってて気がせんかったり、勉強すればするほど分からへん問題が出て来たりするし、目標に向かって歩き始めたと思えば目標が見えへんぐらい遠かったりするし。昨日覚えたはずのものを忘れてる自分の覚えの悪さに絶望したり。せつかく頑張ったのに……：こんな無理やんって思ったやろ。でもな、こんな無理やんって思った時にやり続けられるのが、底力って言うんよ。

この1年で、君らが得たもので
す。そして受験が終わってから
も必要なものです。

この苦しんだ1年で得たものを
これからもちゃんと持っていてく
ださい。苦しい思いをしながらも
頑張った。つてのは、大きな財産
になります。

そして僕の神憑りのな授業を受
けられたことに感謝してね(〜)。
卒業おめでとう。

.....

【理科】

北垣 翔大

46回生のみなさん、卒業おめ

でとう！46回生の授業は1年
生の化学基礎と2年生以降では理
系の化学と選択の理数化学を担当
させてもらいました。理系の12
名は3年の長い付き合いでしたね

(笑)化学が得意だという人は少
なかったと思いますので、テスト
の度に欠点の心配をしている人は
少なくなかったですが、なんとか
みんな食らいついて無事に単位を
とれてよかったと思います。卒業

後、理系の進路に進む人はそも
で多くないかもしれませんが、化
学(科学)は身のまわりに溢れてい
ます。その楽しさが少しでも伝わ
っていただければいいと思っています。
みなさんの今後の活躍を期待して
います！それでは、また会う日
まで👋

岩崎 敏郎

46回生の皆さん、ご卒業おめ
でとうございます。

姫路別所高等学校の3年間で、
充実したものに成るように、精い
っぱい努力されてきた方が多くお
られると思います。大学・専門学
校への進学、また、企業への就職
と、高等学校卒業後は、色々な方
面があると思います。しかし、い
ずれの方向であれ、必ず乗り越え
なければならぬ壁が待っています。
この3年間で経験したことが、
生かされることが多いにあると思
います。これからの人生の壁を乗
り越え、ご自分の人生を切り開き
前進されて行かれることをお祈り
申し上げます。

山崎 育代

卒業生のみなさん、ご卒業おめ
でとうございます。

物理基礎(2年)と物理(3年)
の授業、とても楽しく担当させて
もらいました。特に、3年生では
週に5時間も授業がありました。が
よく頑張ってくれましたね。

たくさんの難問にチャレンジす
る中で、分からない時は質問して
納得できるまで取り組む姿勢に、
いつも感心していました。
卒業後の人生の中でも、難問にぶ
つかることがあると思いますが、
納得できるまで向き合って、乗り
越えていって下さい！
これからも、応援していま
す!!!!

.....

【保健体育科】

小林 雄一

46回生のみなさん、卒業おめ
でとうございます。

体育の授業は
楽しかったですか？私はとても
楽しく授業を行うことができました。
指示をしつかり聞くことや集
団行動など、3年間で大切なこと
を学んだと思います。「メリハリ
をつけること」言われ続けました
ね。是非、この先何か一つでも良
いので自分の好きなスポーツを続
けてもらえたら嬉しいです。

これから先の人生でも、身につ
けた能力を最大限に活かし、失敗
を恐れず、「今」自分が行ってい
ることに自信を持って挑戦しまし
よう。自信を持つためには、充実
した時間を作りながら毎日を丁寧
に過ごしていきましょう。自分の
ためにも、他人のためにも丁寧に
行動できる、そんな大人になつて
ください。

窪前 栄太

46回生の皆さん卒業おめでと
う！

社会に旅立つにあたって、僕が
大事にしていることを君たちに伝
えます。

①Try and Error and Try

日本語で言うところ七転び八起きに
近いかな？なんでも挑戦してみ
てください。その時に失敗をする
こともあります。それでももう一
度挑戦したらいい。挑戦せずに御
託を並べている人よりも、結果は
ともかく挑戦した人のほうが断然
カッコいいと思う。死ぬときに人

.....

は失敗したことよりも、挑戦しな
かったことを悔いるそうです。ど
んなことでもいい。やってみよう
と思つたら1歩踏み出してください。
②喜ばせる人にならなさい

誰かを喜ばせることができる人
になってください。どんな些細な
ことでも大丈夫。誰かにありがと
う、うれしいという感情を与えら
れる人になってほしい。誰かを喜
ばせると、きっと自分にいいこと
が返ってきます。GIVE&TAKEです。
まずは、自分から。今日はここま
で面倒を見てくれた保護者に「あ
りがとう」を伝えてみてはどうで
しょうか？

短い期間でしたが君たちと過
した時間は最高に素敵な時間でし
た。ありがとう。

阪口 朋也

人は”縁”によって繋がって
いる

“縁”があつて

“縁”によって出会う

“縁”が今をつくる

いい“縁”を繋いでいこう

.....

【芸術】

上月 通蔵

46回生のみなさん、ご卒業
おめでとうございます。

46回生の皆さんとは、書道

ー・ペン習字・ボランティア実
践で一緒に勉強しました。これ
らの授業で学んだ何らかの収穫
を携えて、新しい道を歩んでく
ださい。

最後に、松下幸之助の言葉を
贈ります。

人と比較して劣っているとい
つても、決して恥ずることでは
ない。

けれども、去年の自分と今年
の自分とを比較して、もしも今
年が劣っているとしたら、それ
こそ恥ずべきことである。

上畠 愛香

ご卒業おめでとうございます。

3年間の高校生活はいかがでし
たでしょうか。

きっと、皆さんそれぞれにたく
さんの思い出があることと思いま
す。

私とは、音楽選択者のみ、また
授業だけの付き合いではあつた
と思いますが、その中で皆さんの
たくさんの可能性を見せていただ
きました。是非、今の自分より少
しだけレベルの高い自分を目指し
てみてください。

そしてこれからの人生において
も、現状や他人の評価で自分の限
界を決めず、可能性を信じて前に
進んでください。皆さんの将来に
期待しています。

川崎 麻由

ご卒業おめでとうございます！
3年間の高校生活、あつという間
でしたか？これからは進学にし
る就職にしろ、少しずつ人生を自
分で選択する日々になってきます。
自分が楽しいと思える毎日を送れ
るように過ごしてください！
お元気で。

.....

【英語科】

近藤 洋平

46回生のみなさん、ご卒業お
めでとうございます。文口の英語
表現の授業が最後まで見れなかつ
たことは、今でも心残りで寂しい
思い出です。そんな中でも、掃除
や廊下ですれ違ったときに、「授
業戻って来てくれないのですか。」
と声を掛けてくれたことは、心の
底から嬉しかったです。特に授業
中によく寝ていたり、あまり勉強
が得意ではない生徒からたくさん
声を掛けてもらえたので、個人的
には「苦手な英語を、ちよつとく
らい勉強してみようかな。」とい
う気持ちにはできたのではないか
と、思っています。テスト前に

「いつでも質問しに来てください。
補習しますよ。」といつも返事を
していました。誰しも来てくれま
せんでした。きつと私の仕事量
を想像して、遠慮していてくれた
のですね。気遣いが上手なみなさ
んのことなので、きつとそうなの
でしょう。

46回生は特に行事に強かった
印象があります。盛り上げ方、楽

しみ方を周りに波及するエネルギーがとにかく凄い。この1年は、行事ごとに「次は何を見せてくれるかな。」と期待したものです。みんなそれぞれ個性を尊重しつつ、見せ場を作れる、そんな雰囲気、46回生の姿は見ていて感動することが多く、後輩たちへの影響も計り知れなかったと思います。

そんなエネルギーを、これからの環境で生かして頑張ってください。高校を卒業すると、想像をはるかに超える自由が勝手に増えます。その分責任や判断力も必要になってきます。3年間で学び、経験したことを最大限に利用し、いつまでも明るい人生を謳歌していただく。

46回生の皆さんへ

大久保 伸吾

46回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は2年、3年と英語の授業を担当しました。昨年度、授業をしている時ふと「君たちの授業態度は今まで見てきたどの集団の中でも最高です。」とお伝えしたのをつい先ほどのことのように思い出します。私の面白くも分かりにくい話を熱心聞いてくれたし、英語での活動も活発で元氣のでの授業でした。これからの人生まだまだいろんなことがあります。そんな中、姫路別所高校に通い楽しく学習できたことを思い出し、姫路別所の誇れる卒業生として堂々と羽ばたいてください。

ね。Good Bye, Class!!!

谷口 光一

ご卒業おめでとうございます。皆さんが入学した年に、私も本校に赴任し、3年間英語の授業を担当させてもらいました。ですので皆さんと共に本校での生活を送ってきたという思いが強いですが、この3年間、「より楽しい授業」を目指して、試行錯誤を重ねてきました。

皆さん、楽しんでもらえたのか？時々、韓国語も話しましたね（笑）。明るく、素直な態度で授業を受けてくれて、ありがとうございました。

現代は、SNS等を通じて世界と簡単につながることで、時代ですので、世界に目を向け視野を広めましょう。皆さんの、益々の活躍・発展を期待しています。

名村 文男

46回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

私は2年間、英語表現の授業を担当させていただきました。最初は不安でしたが、みなさんの人懐っこさに助けられて2年間を過ごすことができました。

また、いろいろなことがあり挫けそうなきもありましたが、みなさんの明るい笑顔に何度も助けられました。ほんとうにありがとうございました。

卒業に際し、私の思いを好きな歌詞とともに皆さんに伝えたいと思います。

笑顔が笑顔と呼び この世界

を埋め尽くすように いつでも絶やさないで
それが君を輝かせるから 幸せを必ず連れてくる――

自分が笑顔でいると周りも笑顔になり、その結果自分にも周りにも幸せが訪れる。

これからもずっと笑顔でみなさん自身もその周りの人たちも明るくしていってください。

――今日から始まる物語 どんな話も 描くのは夢次第 さあ行く何処までも そう決めたこと 忘れないように――

この3年間、弱い自分を知り、挫折し、乗り越えてきた皆さんは確実に成長しています。成長しているから新たな壁が立ちはだかるのです。これまで姫路別所高校で培ってきたものを糧に乗り越えていってください。皆さんなら出来ます！

――君がいるこの世界が輝きにあふれるように 折つてゐるいつの日も 悩みとまどいながら それでも前を見つめてく 自分を信じて生きる それが未来――

これからのいろいろなことで悩むことでしょう。その時は今まで歩んできた道を振り返ってください。そこに必ず解決できるヒントがあります。「自分が選んだ道は決して間違いいではない」と信じて挑戦し続けてください。

それでは体調に気をつけて。また逢う日まで……。

【家庭科】

青木 文恵

46回生の皆さん 卒業おめでとうございます。

皆さんの人生の大きな節目に立ち会えること、心から嬉しく思います。

思い返せば、高校生活なんてあつという間だったのではないでしようか？

でもね。嬉しかったことも、楽しかったことも、悲しかったことも、苦しかったことも、声を出して笑ったことも、涙が枯れるまで泣いたことも、一生懸命悩んだことも、何もかもすべてがあなたの経験としてあなたの一部になっています。

失敗したことも、怒られたことも、反省したことも、無駄なことなんて何一つない。その貴重な経験を糧に、これからの人生、自信を持って歩んでいってください。

これまでの経験は、すべてあなたの中にあります。それを生かすも殺すもあなた自身です。最後に、健康であることは何より大切です。これからは体に気を付けて、実りある人生を送ってください。

【情報科】

木村 拓磨

卒業おめでとうございます。
3年間、様々な授業や検定で関

わってきました。

1年時 「社会と情報」
2年時 「情報基礎実習」
「情報リテラシ」

3年時 「情報活用」

「情報の表現と管理」
「情報コミュニケーション」
「P検」
「日本語ワープロ検定」
「文章入力スピード認定試験」
「情報処理検定」

本校は特色選抜で「ビジネステクノロジー系統」の生徒を選抜しています。職業科ではなく、普通科の生徒が3年間にわたってコンピュータの世界に触れることができる唯一の高等学校です。有難いことに、毎年、半数近くの生徒が情報系の科目を選んでくれていました。

本年度から「プログラミング」の授業が始まりましたが、一番大切なことは「段取り」の大切さです。目標に対して、「いつから」「何を」「どのように」と計画を立てることが「プログラミング」で学ばべきポイントです。プログラミング学習を経験した高校生が、何れは自分の後輩になります。学んでいないから知らないということではなく、時代がどのように進んでいるのかを把握し、どこかの機会に、プログラミングのアルゴリズムに興味を持ってくれたら幸いです。

これからは、パソコンやタブレットがなくてはならない存在になります。残念ながら、現在の日本の情報教育は海外に比べて約20年近く遅れていると思います。最先端技術は群を抜いて世界のトップクラスですが、すべての国民が

そのスキルを身につけ、意識をせずに使いこなせるようになるには相当な時間がかかりそうです。実際に見学へ行きましたが、衝撃的な事実として、15年程前のシンガポールやマレーシア、韓国での情報教育が、時間差でやっと日本にやってきたということです。具体的な利用方法を誰でも理解できるように説明しているサイトも少なく、いつになったら「いつでも」「どこでも」という社会が実現するかは疑問です。

新型コロナウイルス関連の報道により、根拠のないでたらめな情報をあたかも正しい意見だと主張している一部マスコミの情報の薄っぺらさには驚愕している日々を送っていますが、物事の正邪を判断するのは自分自身です。そのためには根幹となる考え方が必要です。だから勉強しなければいけない。「らしいで」「つって○○さんが言ってたよ」「やって。知らんけど」など、ネットニュースの見出しだけに踊らされることのないように判断しましょう。

ネット社会が落とす影の部分に人の心は支配され、悪口や批判、嫌がらせの言葉の中を駆け抜けていかなければいけません。私が考える最大の情報モラルは「自分にされて嫌なことは人にはしない」ことだと思います。つまり「他人の不幸の上に自己の幸福を築く」とはしない」ということです。これからの社会で活躍する皆さんに、心からのお祝いを申し上げます。自分を見失うことなく、一歩ずつ前進してください。いつまでも見守っています。

46回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

4月から、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

卒業証書を受け取った時から、高校生ではなくなり、就職する人とも18歳になれば、成人として認められ、選挙権も与えられて、社会の一員として過ごしていくのですね。

これからは、限りある時間、できるだけ「たら」「れば」がないように一瞬一瞬を大切に、いろんなことにチャレンジしてください。長い長い人生、しっかり楽しんでください。

でも、行き詰った時、困ったときは、一度立ち止まって、焦らず考えて行動をしてください。なかなかうまくいきません。みんなそうです。

そのために、心から本音を言えたり、相談できる人を見つけてください。

「自分を大切に」しながら、「今しかできないこと」に、たくさんチャレンジしてくださいね！
お元気で・・・。



部活動より

【硬式野球部】

洸晴、博友、高文、結花、香音、芽愛へ

卒業おめでとう！4月、前任の渡会先生が転勤になり、きつといろいろな思いを抱えていたでしょう。特に46回生の君たちは最後の夏まで、渡会先生が監督の下で夏を迎えたかっと思っていたと思います。そんな中、暖かく私を迎え入れてくれたこと、本当に感謝します。ありがとう。ここでプレイヤーとしての野球人生は終わりの人が多いと思いますが、今後野球をやっていたことで、たくさんの人とつながることができ、たくさんのチャンスが君たちに訪れると思います。ここまで、野球を続けてきたことに誇りを持ち、続けさせていただいたことに感謝してください。

最後に、君たちに言葉を送ります。

「出逢いは宝」

僕が大切に行っている言葉です。君たちが、このメンバーにで「出逢えた」ことが奇跡、僕が君たちと「出逢い」一緒に野球ができたことも奇跡、試合相手も家族も全ての人に「出逢え」たことが奇跡です。「出逢い」を大切にしてください。また、「出逢った人」も大切にしてください。「出逢い」に感謝できるようにすると、その気持ちで君たちに素敵な「出逢い」をもたらしてくれると思います。「出逢い」を大切に！

今後素敵な「出逢い」があることを祈っています。

GOOD LUCK★

(硬式野球部 監督

窪前 栄太)

46回生野球部の皆さんへ

ご卒業おめでとうございます。

3年間あつという間でしたね、部員3人、マネージャー1人の野球部に皆さんは私と一緒に入部しました。6人6様の個性があり、指導者間でいつも1人1人の性格やプレーについて話をしていました。どうにかなってほしいという思いとは裏腹の行動をとる君たちに腹を立てたこともありましたが、しかし、ゆっくり話をするのと1つ1つ理解をしようとし、個人差はありますが最後確実に納得してくれるあなたたちでした。素直さ、謙虚さ、奔放さ、実直さ、熱心さ、丁寧さ、なんくるないさを持ち合わせた46回生野球部の皆さん、改めて良い人生を！

(顧問 大久保 伸吾)



【サッカー部】

サッカーを通して、君たちは多くの人と出会い、多くの人たちに支えられ3年間の活動に終止符を打ちました。選手3名、マネージャー3名だったはずなのに、リーグ戦を優勝し、強豪校相手にも爪痕を残せるまでに成長できたことは、自分たち自身の誇りとして持ち続けてください。また、古谷先

生や、池田先生、休みの日に駆け

つけてくれる校長先生、そして家族の存在なくして成長はなかった

ことも忘れないでほしい。嬉しい

ことに、選手の3名はこれからの

人生でもサッカーに関わり続けて

くれます。更なる高みを目指すも

良し、育成者として携わるも良し。

どこかで君たちの活躍を耳にする

ことができることを楽しみにしてい

ます。マネージャーはサッカーか

ら遠のくかもしれません、あの

暑い夏を、凍えるような冬を乗り

越えた経験は、どこかで役に立た

なくても、一緒に活動した思い出

となってくれたら嬉しいですよ。

たくさん怒って、一緒に悔しい

思いをして、何度も躓いては這い

上がる、そんな君たちと3年間サ

ッカーができて本当楽しかった。

後輩もしつかり育ててくれて、感

謝この上ありません。卒業しても

いつでも遊びにきてください。サ

ッカーで紡がれた関係は、これか

らも永遠です。ありがとう、お元

気で！No Soccer, No Life.

(顧問 近藤 洋平)

サッカー部へ

3年生になってからのほんの少

しの間だけ、皆さんの雄姿を見さ

せてもらいました。どのような不

利な状況、苦しい状況にあっても

決して諦めず、試合の度に新しい

ドラマをチーム一丸で紡ぎだす皆

さんは最つつつつ高にカッコよ

かったです。サッカー部で爆裂さ

せたエネルギーを、ぜひ今後の全

人生にも発揮していつってください

ね！卒業おめでとう！

(顧問 野上 光雄)

【バレーボール部】

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先輩方と出会い、一緒にバレー

ができたことは私にとって濃い時

間となりました。入部してすぐの

頃、同級生にプレイヤーがおらず

1人で不安が大きかった時、いつ

も気にかけて声をかけて下さったお

かけで今の私があります。辛かつ

たときも辞めずに乗り越えられた

のは、どんなときも見放さず、相

談にも乗っていたいただき、先輩方

が支えて下さったおかげです。優し

い先輩方と一緒にバレーができた

ことがとても幸せでした。全員で

最後まで必死にボールを追いか

繋ぎ、1点決めたときは全力で喜

ぶことができた総体で、改めてバ

レーの楽しさを感じることができ

ました。仲間思いで人のために動

くことができる先輩方を尊敬して

います。いつも明るく優しく仲間

想いの先輩方が大好きです。

先輩方が卒業してしまうのはす

ごく寂しいですが、先輩方のような

先輩になれるようこれからも頑

張ります。たくさん迷惑もかけま

したが、ご指導・サポートしてい

ただきありがとうございます。

これから新たな道で頑張ってください。

さい。応援しています。そしてま

た部活動にもぜひ来てください。

部員一同待っています！

(部長 T・H)



【女子バスケットボール部】

46回生女子バスケットボール部の4人へ

S・Aさん・Y・Nさん・T・

Nさん・O・Rさんご卒業おめで

とうございます。あなたたち4人

が女子バスケットボール部に入部

してきてくれてとても嬉しく思

います。しかも、誰も辞めずに。逆

に1人増えるなんて珍しい代だ

と思います。これもあなたたちの

いところですよ。この3年間を思

返してみると入学して早々自宅学

習2ヶ月があり、登校できるとな

っても分散登校。バスケットを

読み返すと2020年4月7日、

6月2日まで空白でした。全てが

ストップした時間。こんな学校体

制に果たして新入部員は入って

くるのか少し心配でした。そんな

心配を払拭すべく中学校からの情

報を頼りにまず、最初

に声を掛けたのがあかねでした。

声を掛けた時のあの屈託のない笑

顔が今でも思い出されます。部活

動見学に来てた乃愛を見た印象は、

気が強そうとドリブル大好き。と

いう印象は今でも変わりませんね。

入らないだろうと思いましたが、

次の日、1番に入部届を持って来

て山名先生と一緒に驚いたことを

覚えています。マネージャー希望

の凜咲。でかつ。プレイヤーにな

らないかなと今も思っています。

途中で入ってきた菜々子。最初か

ら入っつけ。って何度も思いまし

た。

入部して最初の大会で相生産業

に勝って、佐用に負ける。その時

の反省ノートにあかね・スクリー

ンアウトと合わせができなかった。

リング下を決めれた。乃愛・マークマンを見失った。いつもよりパスを回せた。」書いてありました。懐かしいです。公式戦での結果は下記に載せているので割愛しますが、西播大会でDからAに上がり、AからCに下がりBで引退した学年。昇格する喜びと降格する歯がゆさの全て知っている学年。全てを知っている私から言えることは「よく頑張った!」「よく耐えた!」です。

この言葉を表しているのは、2021年12月西播2次予選の相生産業戦。2回延長して勝ち切った試合。11月の西播で負けが

続き身体もメンタルもボロボロの中、よく耐えたなと思う。あの時負けたら、もう一度立ち上がる気力があつたのかわからないあの時勝ったから、最後まで誰も辞めずに最後まで続けてくれたのかなと思う。あの時こうすればあすればよかったって思うことは、これからの人生すごく多いです。あれを機にこれができた、あの経験があつたから今があると考えることがようになって欲しいです。

いつでもバスケしにおいて。

3年生			
所属	対戦相手	結果	備考
2022年4月西播大会			
	姫路東	78-61	リーグ戦
	網干	45-78	
	琴丘	32-78	
	香寺	59-86	入替戦
Cリーグ降格			
2022年5月県総体			
	神大附中等	74-39	初戦
	園田学園	30-119	3回戦
2022年8月西播大会			
	上郡	75-37	リーグ戦
	香寺	132-26	
	龍野北	67-29	
	姫路東	112-17	入替戦
Bリーグ昇格			
2022年9月西播2次予選			
	姫路東	53-34	県大会出場決定
2022年8月市民大会			
	市姫	37-39	初戦
2022年10月県大会			
	巨崎西	42-80	初戦



あかねへ
いつもニコニコしているあかねさん。どの学校へ行ってもいつも言われることは、別所のキャプテンいいね。いつもニコニコしてて。あの子がいるから（山崎）先生助かってるやろ〜？ って言われてました。個人に怒ってチームを怒っても、引きずらなかつたのはあかねがキャプテンだったから、ありがとう。

乃愛へ
いつも負けん気のある乃愛さん。乃愛の持ち味のドライブを制限したことで嫌だった時期があつたと思います。けど、それに順応してくれて助かりました。自分の持ち味が他にもあると見出したスリーポイント。最後の姫路東戦で11本決めるとは思いませんでした。置かれてる立場を理解してうまくなってくれて、ありがとう。

菜々子へ
陰で頑張る菜々子さん。速攻でいつも先頭を走ってパスが来なくて落ち込んでるのを思い出します。心折れずよく走りました。半年遅れて入ったからといって「みんなに追いつきたいから自主練しました」と聞いてすごく嬉しかったのを覚えています。そんな気持ちもってるねや〜。だったら、最初から入っとけ。の一言ですが、菜々子みたいな選手がいたからみんな負けず嫌いでいれたことでしょうか。ありがとう。

凜咲へ
1番身長が高く、1番成長した凜咲さん。凜咲は本当に成長した。K先輩に育てられ何も言わなくて

も選手の動きをみて先読みをしていた凜咲。最高学年になり、人を怒つたことない凜咲が初めて怒らなあかん場面がありすごく苦しかったでしょう。人に怒るってすごいエネルギーを要するって理解できましたね。（そう。怒るって大変なんです。（心の声）これは絶対凜咲にとつていい経験です。マネージャーとして成長してくれて、ありがとう。

また、みんなとバスケできる日を楽しみにしています。辛くなったらいつでも連絡しておいで。保護者の皆様もご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

（顧問 山崎 千穂）

あかね、乃愛、菜々子、凜咲へ
約1年前、初めて会った日のことは今でも鮮明に覚えています。練習試合の途中に、様子を伺いながら楽しそうに自己紹介をしてきたのがとても懐かしいです。その時から今も変わらず4人に対するイメージは、めちやくちや元気で、めちやくちや人懐っこいということです。たつた数か月しか関わることができなかったけど、本気で応援したくなるような魅力がみんなにはあります。そんなみんななら、どんな進路に進んでもきつとうまくいきます。何か困ったことがあつたとしても、きつと周りの人が助けてくれます。これからも自信をもって挑戦してってください。

みんなが充実した毎日を過ごせるよう祈っています。卒業おめでとう！

（顧問 北川 知幸）

【男子バスケットボール部】

男バス諸君へ

「全員が練習に来る」が目標に始まったチームやつたな。それ以外にも色々ありすぎて、退屈せーへん個性まみれの学年でした。そして誰も辞めへんかつたな。練習メニューにしんどいものが増えて、辞める人も出るかも、と思ってた。

今思うと俺たち、めちやくちや弱かつたよな。

でも、めちやくちや練習したよな。めちやくちやドリブルして、めちやくちやパスして、めちやくちやシュート打って、めちやくちや声出して、めちやくちやトレーニングして、めちやくちや走つたな。めちやくちやしんどかつた。めちやくちや試合、負けたな。

練習試合も合わせて初めて試合に勝つのに半年かつた。でもあの時、めちやくちや嬉しかつたよな。俺たち、めちやくちや弱かつたけど、めちやくちや強くなつたよな。色んな人に強くなつたなどと言われるお前らを、自慢に思う。

新チーム初まつた時にも言ったけど、バスケの顧問をしたのは姫路別所が初めてで、1年通して見れたのは君らが初めてです。経験のない僕が顧問というのは、君らにとつては、運が悪かつたと思う。

でも僕にとつて初めて顧問する生徒が君らであつたことは、運が良かった、と思つてます。

卒業おめでとう。

これから何かどうしようもなく辛い事があつた時は僕のところに來てください。17走らせて、あの頃に比べたら今の辛さなんて、って思い出させてあげるから。

（顧問 大西・片山）



【バドミントン部】

ご卒業おめでとうございます。一緒に部活ができたのは、短い間でしたがお世話になりました。練習でできないことがあれば優しく教えてくれたり、試合をしたときにアドバイスをくれたり、たまにはみんなでお喋りしてみたり、先輩たちと一緒に部活ができて、ほんつとに楽しかつたです！ 喧嘩をしていたときもあった先輩だけど総体での先輩たちの姿はとてもかつこよかつたです！

入部してから引退まで色々大変なこともあったと思いますが、最後まで一人も辞めず全員引退までできたことは、すごいと思います！ お疲れさまでした。

部活を引退してからも廊下などですれ違ったら話しかけてくれたり、相談に乗ってくれたり、仲良くしてくれて嬉しかつたです。部活が嫌になつたり、やめたくなつた時もあつたけれど、いつも先輩が「頑張れ!」と応援してくれた

り、励ましてくれたおかげで今も頑張ることができています！ ありがとうございませう！

先輩が卒業してしまうのは寂しすぎますが、卒業してからもそれぞれの夢や目標に向かって頑張ってください。応援します。また部活にも来てくださいね。待ってます！

(部長 H・A)



【卓球部】

森元君。ご卒業おめでとうございます。1年生の時から、卓球場で自主練習をしていた姿が印象的でした。3年生になってからは、部長として皆の意見に耳を傾け、温かく接して、部員をまとめていましたね。唯一の3年生部員として、部長・選手の役目をよく果たしてくれて、ありがとうございませう。今後の益々の発展・活躍を願っています！

(顧問 谷口 光二)



【硬式テニス部】

高尾さん・福本さん卒業おめでとう！ 君たちがもう卒業とは、時が経つのは早いものだなと感じています。1つ上の学年とは違って2人という少ない人数でしたが、よく最後まで頑張りました。喧嘩

したときなんかは大変なこともあったと思いますが(笑) 下の学年も決して人数は多くありませんが、それでも和やかな雰囲気活気のある部活動ができたのは2人のおかげだと思っています。ありがとう◎ これから君たちは、それぞれの進路で、それぞれの目標に向かって努力していくことだと思います。大変なこともあるとは思いますが、この姫路別所高校で学んだことを活かして乗り越えていってください。今後の活躍を期待しています！ 新生活が落ち着いたら、先輩の様子も見に来てってください。それでは、また会う日まで



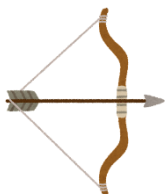
(顧問 北垣 翔太)



【弓道部】

先輩方、ご卒業おめでとうございます。はじめ、弓道部に入部した時は、弓道について何もわからない事だらけでしたが、先輩方に丁寧に教えて頂き、今は先輩に教える事ができるようになりました。先輩方が引退した今、まだまだ不安な事は沢山ありますが、これから先弓道部全員で頑張っていきたいと思っています。進学されても頑張ってください。

(部長 I・N)



【剣道部】

「姫路別所の剣士たちへ」

剣道部

木村拓磨
青木文恵
新田静華

卒業おめでとうございます。保護者の皆様、3年間の長きに渡り、ご支援ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

愛己、安美、陽菜、彩乃。卒業おめでとう。コロナ禍での入学、分散登校、部活動の制限、マスクでの生活、日常の当たり前が急変した世界。その中でみなさんは入部してきました。優しくて厳しい先輩方の愛情に包まれて成長できたことは、生涯にわたってそれを誇りとして感じ続けてほしいと願っています。当時の3年生はインターハイ予選が中止になった学年。全国への道が閉ざされました。「仕方ない」「やってきたことは無駄にはならない」「いつかはこれも思い出になる」など、報道を通じて様々な競技の先生が部員たちに対して、涙ながらに声をかけている様子が映し出されました。しかし私は、碧や愛斗に上手な言葉をかけてあげることができなかった。積み重ねてきたことがあるので一緒に悲しみました。ただ、西播高体連剣道部の先生方の思いが結束し、3年生のための大会を行うことができたことは皆さんも覚えていると思います。その次の年、大会を前日に控え、これもコロナの影響でまさかの自宅待機。最悪の事態を覚悟したことは鮮明に記憶に残っています。各大会での観覧者の入場制限、稽古

時間の短縮、県外遠征の制限もありました。このような状況の中で、保護者の皆さまにおかれましては、子どもたちの成長のために、合宿の実施や県外遠征の許可していただき、不安もあったと思いますが、一歩ずつの前進の後押しをしていただいたことに深く感謝申し上げます。

愛己へ。中3のオープンハイスクールから剣道部の見学にお母さまと一緒に来てくれたときが初めての出会いでしたね。大人しい感じでしたが明るそうな雰囲気を持っていました。なかなか登校できない時に、愛己に手紙を書きました。登校できないことで気持ちが途切れないようにとの思いがあり、筆をとった覚えがあります。初めてのあけのべ合宿。先輩の「チームは家族」との言葉を受け、涙ながらにみんなの前で話していたこと、今もその時の映像がスマホに残っています。先輩が引退し、主将を引き継いだ2年の秋に自宅待機を余儀なくされ、稽古にリモート参加していましたね。目標としていた西播大会に出場できませんでした。みんなのおかげで初めての西播大会3位入賞。チームの結果を喜ぶとともに、自分が出場できなかったことの悔しさで、少し元気がない時期がありましたね。その時には叱咤しつつも、複雑な気持ちもわからないでもなかったと思います。最後のインターハイ予選。直前の福岡・佐賀遠征は精神的にも体力的にもピークでした。県ベスト8の壁を破ることができませんでした。それが全日本女子選手権兵庫県予選への出場や玉竜旗大会初出場・初勝利

に繋がり、愛己の戦いぶりを見てくださった大学の先生の目に止まったことで、来年度からの進路を勝ち取るようになりましたね。その他にも、学校行事の交流体育祭や交流文化祭では、気持ちよさそうに歌ったり踊ったりしていましたね。体育の授業での体操の号令は、職員室まで聞こえていました。充分に高校生活を楽しんだと思います。卒業前の1カ月、卒業生としての伝統をつくろうと立ち上がり、有志を募って「早朝あいさつ運動」や3年間お世話になった校舎に感謝を込めて「校内清掃」にも取り組みました。「一人でもやる」と覚悟を決めたことで友人が集まり、輪を広げることができたことは、教育者としての素地を作ったことになると思います。私の後継者の一人となるべく、高校剣道界を牽引するような剣士に成長してください。まずは大学での4年間、レギュラーになれなくても稽古を続けること。理不尽なことがあっても絶対に逃げないこと。先輩になったら、厳しくも心優しく後輩に接すること。そして、育ててくれたお父さまやお母さま、お姉さんたち、弟に感謝し続けることを願っています。卒業おめでとう。

安美へ。色々ありました。一度はこちらからの誘いを断られました。後日、急転直下の入部。マネージャーとして一学期間を過ごしてあけのべ合宿へ。あなたもみんなの前で泣いていましたね。その時に、剣道を小学校で辞めた理由や剣道部に入部して感じたことを話してくれました。合宿終了日に「安美が剣道するか迷っている

そうです」とマネージャーの真実先輩から連絡が入りました。「やってみたいと思うならやれば良い。うちでなら、うちからこそ頑張れると思うよ。家族が家族を見捨てることはないから。」と伝えてもらいました。剣道は自分でやろうと思わなければ継続は出来ないと思っています。人にやらされて続けられるほど甘くはない世界だからです。安美には「剣道しよう」という言葉は、敢えて言いませんでした。その後、剣道を再開してすぐに、安美のお母さまからお手紙をいただきました。そこには「剣道をやりたいと思う」とはないだろうと思っていました。が、少しずつ変化していくのを見て、嬉しく思っていました。「母親として全力で安美をサポートしていきたい」と書かれていました。安美が剣道を辞めてからどのような思いを抱えていたのでしょうか。稽古をしすぎて足を痛めていた時期もありました。でも稽古を中断することはなかった。負け続けて凹み続けた時もありました。気分が下がって立ち直れなくて、周りに心配をかけた時もありました。良くも悪くも全てが安美です。副主将として責任感が強い反面、うまく伝わらないこともありましたね。「勝つために何でもするか？」と先輩の最後の試合が終わった直後に県立武道館で尋ねました。それが中段から上段に構えを変えた時でした。両手でも竹刀を振ることも大変なのに、片手で打っていかないといけない。リスクを覚悟でそう決めました。上段は「火の構え」との異名があります。退路のない構えです。安美は初見

が弱い。でも最後まで粘り強く戦えるのが安美の良さです。何かに取り組もうとするとき、一瞬だけ躊躇するところがあります。ある意味、慎重であるともいえます。これから何か挑戦するときには、「捨て身」の思い切りの良さを出していかないといけません。損得を考えず、失敗を恐れず、当たって砕けるくらいの覚悟が安美にとって必要です。どんなに早い時間でも、遠征帰りの深夜でも、送り迎えをしてくださったお父さまに心から「ありがとう」と感謝しよう。またいつか、剣を交えることを楽しみにしつつ。卒業おめでとう。

陽菜へ。分散登校の時、正門のすぐそばで、あなたが自転車の籠からからスマートフォンを落とさなければ、剣道との出会いはなかったでしょう。ドラマティックで運命的な出来事だったのかもしれませんね。陽菜の性格は真つすぐで、曲がったことは嫌い。マネージャーの仕事は先輩から細かく指導を受け、いつも剣道場内を整理整頓してくれました。2年生の夏、新型コロナウイルスの罹患者が増加し、8月下旬から9月中旬まで部活動が制限されました。剣道部は大会を控えていたので、限られた時間を稽古しました。足りない時間を埋めようと、みんなからのコメントをまとめて、毎日送ってきてくれました。単純な作業ですが手間のかかる仕事です。陽菜の仕事は一つひとつ丁寧で、時間がかかってでも最後までやり抜いてくれました。愛己が試合に出られなかったときは大会にも出てくれました。西播新人大会では一試合が終わった後、息も出来ないくらいの状況でした。私「もうやめとくか？」。自分陽菜「嫌です。出ます。」。自分に負けたくなかったのか、準決勝まで試合をし続けたこと、そんなマネージャーは全国を探してもいません。最終的には、最後の西播大会、県総体、玉竜旗大会にまで出場しました。マネージャーが全国一位の中村学園と対戦。考えられません。本当にありがとう。その真面目さで、時にはキャパオーバーした時もありましたね。熱を出したり、剣道場で寝込んで保健室へ運ばれたり、体力との戦いでした。いつも申し訳なさそうにしていた印象が強いです。その時にいつも支えてくれたのはご両親でしたね。本当に愛情の深い家族に守られているんだと思いました。「挫けてしまわないようにサポートしよう」と思います」と、陽菜に何かあったときにはこまめにメールをいただきました。陽菜の頑張り屋さんの性格を良く理解され、剣道部を信頼して預けていただいているんだと思いました。玉竜旗大会へ向かう直前、いっぱい話しましたね。強気で誠実な心を持つているが故の曲げられない部分も、理解と納得をすれば素直に受け入れることができるのも陽菜の良さです。遠征中の食事場所や内容の調整、洗濯の時間帯など、今だから正直に言いますが、普通の高校生には絶対にさせないし、できるわけがないことを要求しました。頭を抱えながらも、やり遂げましたね。調べたお店が開いてなくて、前で立ち尽くして姿は忘れることはありません。涙が出たり、

過度な要求によって顔色が変わったときもあったと思いますが、冷静に考えて行動できるのが陽菜。将来は栄養士の資格を生かしたパティシエになることが夢。パティシエは体力がいる仕事です。2年間の学校生活でしっかりと身体を鍛え、どんな仕事にも耐えられる体と精神力を身につけよう。本校の剣道部での3年間で得たことは必ず役に立つ。それがわかるのは今からです。恐らく、これから起きる出来事は、ほとんど乗り越えられると思います。幸せなひと時を提供できるパティシエになってください。卒業おめでとう。

彩乃へ。「剣道部のマネージャーになることは入学前から決まっていた」といっても間違いないです。彩乃がつながっているとは思いませんでした。二十年前に剣道が縁で出会った教え子。網干高校通信制の教員時代に一緒に剣道同好会をつくった生徒でした。私学へ剣道推薦で入学し、ケガの影響で退学。地元の高校へ編入するも、出戻ってきたことで居場所がなく退学。巡り巡って出会いました。同好会でありながら、県の個人・団体ともに制覇し初の全国大会へ。部費はゼロ。全国定通大会で個人準優勝、団体は兵庫県代表の大将として3位入賞に貢献し、次の年もベスト8。青春の良き思い出です。「運命」つてあるかもしれない。あけのべ合宿にいつも会いに来てくれて、楽しそうに話していましたね。生涯の友ですね。なかなか体調がすぐれず、思い通りにいかない日々が続きましたね。でも、どんなに調子が悪くても「剣道部には感謝している」といつも言葉に出してくれたのは彩乃でした。家では大切な妹に勉強を教えたり遊んであげたり、いつも明るいお母さまや寡黙で優しいお父さまの愛情を受け、何とか卒業まで辿り着きました。感謝し

く頑張りました。真剣に怒りまし

たし叱りました。甘ったるい部活動にすることもできましたが、私にはできません。しかし、私は人を育てる職業に就いていることを誇りに思っています。世界が幸福になるには「教育」しかないと確信しています。これまで何千人もの生徒と関わってきました。この3年間で全てを教えないと何れ後悔するということは、今まで何度心

を鬼にして接していかなければ、不幸な生徒を生むとも思います。どこの学校の剣道部の先生よりも厳しかったし、妥協は一切しませんでした。時代遅れと思われるかもしれませんが。

姫路別所の剣の極意は「感謝」。いつまでも周りの人への感謝を忘

れずに、誠実で素直で、心から喜び、心から友人を信頼し、強い心でみんなを幸福にできる人になっ

てください。選手の袴の背板には「福剣志（ふくけんし）」と刺繍されています。亡くなられた私の大学の恩師の言葉です。「剣道を志す者は幸福にならなければいけない」という意味として解釈しています。もししたら、「志をも

って剣道に取り組む、周りの人を幸福にしていきなさい」とも読めます。解釈は様々です。太陽に明るく、月光のように優しく、自分が灯した光で全てを映し出すような人生を送ってください。健康で生きていけば、気を使って連絡をし

てくる必要はありません。時間があ

って気が向けば、後輩たち

に会いに来てあげてください。

「誰（た）がために人間の道を学ぶのか」「誰がために平和の

翫

を求めつづけるのか」。「師子奮迅」「前二後一」「桜梅桃李」「これから関わる人に対して。恩知らずと思わせるな」。幸福な人生を。

保護者の皆さま、今後とも、本校剣道部の良き理解者として、応援をよろしく願います。

久保さん、山本さん、藤本さん、黒田さんへ。

ご卒業おめでとう。皆さんと部活動ができて本当に良かったです。しかし、思い返せば学校行事以外本番は皆無。1・2年のころはコロナの影響で突発的に1・2ヵ月ほどごっそり部活がなくなることもありました。限られた練習時間や本番を大切にしながら、曲数少ないながらも1曲1曲真剣に取り組んできましたね。皆さんの最後の演奏となった交流体育祭のOneLove。とても素晴らしい演奏でした。

運営面に関しても、部全体や後輩たちに目や気を配りながら、部活を作り上げていってくれましたね。皆さんが引退した後、後輩たちが困ってしまったときも、陰ながら支えてくれてありがとう。もつともつと皆さんと音楽をしたかったけれど、どんなものにも終わりがあります。

いつかどこかで、また音楽がで



【吹奏楽部】

きる日があればなあ…と願って
おります。

いつまでも、優しく思いやりの
ある皆さんでいてくださいね。本
当にお疲れ様。

(顧問 野上・天野)

先輩方、ご卒業おめでとうござ
います

大切な人はいなくなつてからそ
の大切さに気付くという言葉があ
りますが、まさにその通りで、先
輩方がいなくなつてからは部活に
ぼつかりと穴が開いてしまったよ
うな気分になっていました。それ
ほどまでに重要な存在であつた先
輩方のかわりがとまるよう、私
たちも頑張つていくので、先輩方
も持ち前の明るさや優しさで進路
先でも活躍していけるよう全力で
応援しています。

(部長 M・T)



【美術部】

ご卒業おめでとうございます！
先輩方の新しい作品を見れなくな
ることが凄く残念ですが、教えて
いただいた事をむねに頑張ります。
美術部を引っ張つてくださり、あ
りがとうございました。これから
のご活躍をお祈りしています。

柿本さん、荒木さん、吉崎君、
ご卒業おめでとうございます。3
年間、美術部を支えていただきあ
りがとうございました。美術部の
活動を通して、芸術に触れ、人間
としての幅を広げられたことと思

います。今後も、心豊かな人とし
て成長して行つて下さい。

(顧問 岩崎 敏郎)



【放送部】

「先輩って本当にいい人ですよ
ね。」

「吉倉くん。いい人つていうのは
自分にとつて都合のいい人つてこ
とな。誰かを褒めるときはもつ
と具体的に褒めたほうがいいよ。」

——これは大学1回生の時、僕
と先輩（2つ上のお姉さん。ラグ
ビー部MG。かわいい。）が交わ
した会話のひとつ。

「いい人」、「いい子」、「いい
やつ」。耳にすることも口にする
ことも多い言葉だけれど、時折こ
の時の会話が脳裏をかすめる。自
分は利己的に「いい〇〇」という
言葉を使つてはいないだろうか。
そう思つてしまうのだ。

僕が出会つた放送部員の君たち
をどう形容するか。色々考えては
みたが、やはり「いい人」たちと
いう言葉が一番しっくりくる。

日々の練習、昼休みのミーティン
グ、学校行事の準備、昼放送。決
して楽ではない活動にも音を上げ
ることなく取り組んでくれた。君
たちと一緒に放送部を創り上げて
いく感覚は、教員というより、一
人の部員としてのそれに近く、そ
れは本当に楽しく、嬉しいことだ
つた。君たちと過ごした2年間で
僕は認識を改めた。「いい人」と
いうのは、「一緒にいて心地がい

い人」のことなのだ。卒業直前ま
で昼放送を手伝つてもらつていた
のも、君たちと少しでも一緒に過
ごしたかったからだったりする。

君たちのような「いい人」たちと
活動ができて、僕は幸せだった。
今なら、先輩とも美味しいお酒
が飲めそうである。「先輩、すこ

く「いい部員」たちがいたんです。
話、聞いてください！」なんて言
いながら・・・。

寺脇くん、加藤さん、石本さん、
高本さん。みんな、卒業おめでと
う。これまでありがとう。君たち
と過ごせた時間はかけがえのない
ものです。これからの君たちに、
いい人生が待っていますように。

(顧問 吉倉 健人)



【軽音楽部】

軽音楽部の皆さん、卒業おめで
とございます。

46回生は、15名もの大所帯
であり、その人数が故に苦労した
ことも沢山あつたと思います。そ
れでも最後まで、本当によく頑張
りました。

皆さんは、1・2年の時の厳し
さの経験からか、後輩たちにすこ
く優しく、面倒見のいい学年でし
たね。自分たちの代になつてから
は、自分たちが1年生の時とのギ
ャップに戸惑いながらも、メリハ
リをもつて、後輩たちと良い関係
を築いてくれていたなと思ひ返し
ます。まだまだ心配ごとがたくさん
残る後輩たちですが、これから

も一生懸命頑張つてくれると思ひ
ます。また、いつでも見にきてあ
げてください。

これから各々の道に進んでいく
ことになりましたが、自身の良いと
ころや強みを生かし、それぞれの
場所で輝けることを心から祈つて
います。

改めて、卒業おめでとう。そし
て、軽音楽部に入学してくれて、
ありがとう。3年間頑張つてくれ
て、ありがとう。

(顧問 志鷹 明依・藤原 勝博)



【書道部】

山田さん、ご卒業おめでとうござ
います。3年間の高校で培つた
能力を大学でも存分に活かして、
さらに成長してくださいね。応援
しています。

(顧問 上月 通歳)



【コンピュータ部】

46回生コンピュータ部の皆さん、
卒業おめでとうございます。
いつも情報演習室で明るい雰囲気
を作つてくれてありがとうござい
ました。皆さんの行動力には驚か
され、助けられました。

卒業後、いろいろな難題が待つ
ていることと思います。しかし、
あなたはこの姫路別所高校で育て

てきたその力で乗り越えられる、
と信じています。これからも体調
に気をつけて頑張ってください。
またいつか成長した姿を見られる
ことを期待しています。

(顧問 名村 文男)

後輩からも一言

ご卒業おめでとうございます。
明るくてとても接しやすかつ
たです。これからも明るい先輩た
ちで頑張ってください。



【ボランティア部】

入学時よりコロナの関係でボラ
ンティア活動が大きく制限を受け、
校内の清掃や花植作業しかできま
せんでしたが、2年生の12月か
ら「コミュニケーション食堂きらら」で
の活動が開始され、何とかボラン
ティア部らしい活動が出来ました
ね。先輩方も皆、心優しい人たち
でしたが、46回生の皆さんは、
全員が奉仕の精神を備え、思いや
りのある行動が板に付いた人たち
ばかりでした。今後もボランティ
ア精神に更に磨きをかけることを
意識し、新しいステージで活躍さ
れることを期待しています。
3年間の前向きな活動、ありが
とうございました。

(顧問 天野・片山)



【部活動功労者】

〈運動部〉

硬式野球部

木村さん

サッカー部

安達さん

バレーボール部

澤田さん

男子バスケットボール部

大山さん

女子バスケットボール部

清水さん

バドミントン部

橋本さん

卓球部

森元さん

剣道部

北條さん

硬式テニス部

高尾さん

弓道部

秋本さん

（文化部）

吹奏楽部

久保さん

美術部

柿本さん

放送部

寺脇さん

軽音楽部

田代さん

書道部

山田さん

コンピュータ部

大橋さん

ボランティア部

肥塚さん

計17名

部活動功労賞を受賞したのは17名ですが、その他にも、リーグ昇格や県大会出場と輝かしい成績を収めた人はたくさんいます。多くの人が部活動に所属し、3年間継続し頑張ることができました。この頑張りにはあなたたちの大きな財産となることでしょう。部活動で学んだことを十分に活かし、社会へ出ても頑張つてほしいと思います。よく頑張りました！

【皆勤賞】

1組

佐野さん

2組

加藤さん

山口さん

3組

石船さん

國永さん

寺脇さん

計6名

【精勤賞】

1組

穂山さん

大山さん

金沢さん

北地さん

高本さん

篠内さん

曾谷さん

田中さん

藤本さん

森元さん

山田さん

黎さん

2組

大橋さん

佐野峯さん

塩津さん

長野さん

西塚さん

森本さん

森山さん

吉井さん

3組

秋本さん

井上さん

奥田さん

川端さん

糸原さん

佐伯さん

清水さん

高尾さん

計28名

46回生は入学当初から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、体調管理をすることも大変だったでしょう。その中で、3カ年皆勤が6名、3カ年精勤が28名、計34名とよく頑張りました。今後も、体調の自己管理をしっかりとし元気に過ごして下さい

表彰状

46回生生徒諸君 殿

あなたたちは、この3年間、コロナウイルスの影響で様々な我慢を続けてきました。入学式は中止となり、オリエンテーション合宿も実施できませんでした。

それだけではなく、入学後、2ヶ月におよぶ自粛期間、課題だけが届く日々が続きました。登校しても、マスク着用、黙食、2年生でも、修学旅行の行先変更と残念なことが多くあったことでしょう。そんな中でも、あなたたちは自分たちで楽しむべきを覚え、精一杯、行事を楽しみました。3年生の交流体育祭、交流文化祭と、最後の最後まで明るい笑顔と元気な姿を忘れることなく、私たちをとっても明るくしてくれました。

そして、あなたたちは気づいていないかもしれませんが、素晴らしい特技を身に付けていました。それは、天候を操る能力です。

たぶん、楽しみにしていた2年生の交流体育祭、修学旅行、3年生の交流体育祭と台風が接近する時期にもかかわらず雲一つない晴天に。一方、たぶん嫌であったらう1、2年のマラソン大会は、2月の乾燥する時期にもかかわらず、雨となり、見事なまでに天候のコントロールを成し遂げました。

この3年間、多くの我慢をし、今ある環境の中、明るく元気に学校生活を楽しみ、苦しいことも楽しさに変換してゆく姿は、見ている人を明るく元気にさせました。

ここに、その荣誉と努力、類い希なる才能を讃えて表彰します。

令和5年2月21日

兵庫県立姫路別所高等学校

第3学年主任 天野 弘之

〈編集後記〉

今回、学年通信(卒業号)を発行するにあたり、たくさんの方から文章を依頼し、書いていただきました。授業や部活動などで、多くの先生方に支えていただいたことでしょう。その先生方から、高校生の46回生へ贈る最後のメッセージです。各先生の想いや愛がたくさん詰まった、46回生学年通信【軌跡(TRACE)】の最終号となっています。先生方からの想いや愛をしっかりと受けとってください。

最後に、この卒業号を製作するにあたり、ご協力して下さいました先生方、感謝いたします。ありがとうございました。

古野 杏菜

